

編集・発行 大学美術教育学会広報室
理事長 佐藤哲夫 (新潟大学)
総務局長 新野貴則 (山梨大学)
広報室 E-mail: daibibumon@uaesj.com (総務局専用)
事務支局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入る西大路町
146 番地 中西印刷株式会社 学会部内
TEL: 075-415-3661/FAX: 075-415-3662
E-mail: uaesj@nacos.com

美術教育学会の未来

大学美術教育学会理事長 佐藤 哲夫 (新潟大学)



平成 30 年度、令和元年度理事長を務めさせて頂いている佐藤です。皆様もご存じのように、現在美術教育の学術的な学会は三つあり、大学美術教育学会は、日本美術教育学会、美術科教育学会と並んで、日本の主要な美術教育学会としての存在感と重要性を保持しております。その中での本学会の特徴は、ルーツが教大協美術部門と補完関係にある学会だということがあります。すなわち、教育系の大学、学部において美術教育を担う部署、昔からの典型的な言い方だと教育学部美術科となりますが、それを担ういわゆる教科教育の担当者と実技・美術理論など教科専門の担当者のどちらをも主要な対象者とする学会としてはじまったことです。現在は、私学や現場の教員、大学院生など広く美術教育関係者のための学会として活動していますが、「美術教育のための教科教育と教科専門である」という根本理念は、重要だと思えます。

教科専門に開かれた本学会は、そのせいもありもともと会員数の多い美術教育の学会としてあり続けています。とはいえ本学会も、法人化以降の大学改革の流れの中で会員数の減少傾向は鮮明であり、今後もこの傾向は続くことが予想されます。総務局会議でも、今は学会の合理化の努力が実を結び、何とか予算的な安定を維持できる状態になっているが、その先は学会の存続が危ぶまれる事態に至る可能性大であるとの見方が大勢です。

さて、皆様は三学会による「造形芸術教育協議会」をご存じでしょうか。2009 年に発足し、2010 年の第二回において協議会の「合意事項」が文章化され署名されています。その 2.では、「本協議会は、美術教育関連の組織が結集して、美術教育を振興していくことを目的とする」とあり、その 4.では、三学会の代表者等が集まり「連携の具体を協議する」ことが明記されています。平成 28 年に文科省に出された「美術教育提言書」は、関連 8 団体の連名による美術教育連絡協議会からの提言となっていますが、主導したのは三学会であり、前理事長の小野先生が代表として取りまとめたものであり、「連携の具体」の成果といえるものです。また、昨年 3 月に出版された神林恒道・ふじえみつる監修『美術教育ハンドブック』も同様の意味を持った成果です。

今年 3 月の第 9 回協議会では、学会の統合を巡って意見交換がなされました。そして、統合のビジョンの共通認識、具体的な組織運営の在り方などを今後議論していく必要があるということでも一致しました。本年度の協議会は、大学美術教育学会が幹事学会になっております。学会員の皆様にも、避けては通れないように思われるこの三学会の統合問題に関心を持って頂きますようお願い申し上げます。また、ぜひ積極的にご意見やご提案を執行部へお寄せくだされば幸いです。

平成 30 年度 委員会活動報告

学会誌委員会 活動報告

1. 『美術教育学』第 51 号について

本年度の投稿本数は 66 編（昨年度 69 編）であった。事前登録数は 90 件（昨年度 98 件であった）。11 月 4 日に大阪教育大学天王寺キャンパスにて第 2 回学会誌委員会を開催し、査読結果を審議し、掲載・不掲載・条件付き掲載・追加査読を決定。追加査読については学会誌員による査読を行い、全員で審議の上条件付き掲載または不掲載を決定した。

最終結果：掲載 46 編（掲載率 69.7%）※昨年度
50 編・掲載率 72.46%

内 訳：掲載 7 編、条件付掲載 39 編（第 1 回査読条件付掲載 31 編・追加査読による条件付掲載 8 編）、不掲載 20 編（第 1 回査読条不掲載 7 編・追加査読による不掲載 13 編）、

2. 学会誌委員会等開催

- (1) 中西印刷との打ち合わせ（平成 30 年 6 月 4 日）諸調整事項を確認。理事会メール審議
- (2) 第 1 回学会誌委員会（平成 30 年 9 月 21 日）
奈良教育大学
学会誌委員顔合わせ、運営日程等確認
- (3) 第 1 回幹事会（平成 30 年 9 月 22 日）奈良教育大学
- (4) 第 2 回幹事会（平成 30 年 11 月 4 日*学会誌委員会開始前）大阪教育大学天王寺キャンパス
- (5) 第 2 回学会誌委員会（平成 30 年 11 月 4 日）
大阪教育大学天王寺キャンパス
- (6) その他 不定時幹事会（メール審議等）、正副委員長と中西印刷との調整等

3. 今年度総括と今後の検討事項

- (1) 編集係（中西印刷）の業務進行が極めてスムーズで大変助かっている。進行上は現状問題はない。
- (2) 査読者の専門領域の多様性の確保が困難。（多忙を理由に承諾しないケースが増えている）

4. 29 年度の変更点（※昨年度会報記事再録）

(1) 学会紙掲載者へ抜刷について

28 年度まで) 50 部以上、10 部単位で受け付け。29 年度より)「不要」「50 部」「100 部」の 3 パタンのみとする。

<理由>抜刷製作作業の煩雑化解消。

(2) 投稿論文に関する規程の、共著（セカンド以下）の場合の上限撤廃

28 年度まで) 単著または共著の筆頭執筆者の場合、投稿できる論文は 1 号につき 1 編とし、共著を含め投稿できる論文の上限は 2 編とする。

29 年度より) 単著または共著の筆頭執筆者の場合、投稿できる論文は 1 号につき 1 編とする。

<理由>かねてから改正予定の内容。単・筆頭の上限については今後議論する。

(3) 註」と「文献」の一本化

28 年度まで)「註」と「文献」はわけて記載
29 年度より)「註」に一本化（以前の形式に戻す)

<理由>会員からの問い合わせや疑義が多い。理系論文と違い、文献リンクの有効性が見られない。混乱を避けるため。

学会誌委員長 佐藤賢司（大阪教育大学）

平成 30 年度 理事会報告

日時：平成 30 年 9 月 21 日（金）15：30-16：30

場所：奈良教育大学 306 教室

司会進行：新野貴則（総務局長）

I あいさつ

開会の辞：八重樫副理事長から挨拶がなされた。

理事長挨拶：佐藤理事長から挨拶がなされた。

開催大学挨拶：大山・奈良大会運営委員長から挨拶がなされた。

II 報告事項

1. 平成 30 年度学会員登録状況

芳賀副総務局長より、2018 年 9 月 21 日現在 749 名(内 1 名、学会誌購読会員)と報告がなされた。

2. 平成 30 年度 役員・各種委員会委員

新野総務局長より、概要集の資料をもとに平成 30 年度役員・各種委員会委員の報告がなされた。

3. 平成 29 年度 事業報告

新野総務局長より、概要集の資料をもとに平成 29 年度事業報告について報告がなされた。

4. 平成 30 年度 奈良大会の日程及び内容

新野総務局長(宇田・奈良大会運営委員代理)より、概要集をもとに日程及び内容について報告がなされた。

5. 学会各種委員会

(1) 学会誌委員会報告

佐藤委員長より、学会誌第 50 号の登録数・投稿数・掲載数、論文ぬき刷り数の設定、同一投稿者の 1 号あたりの投稿件数の設定、学会誌第 51 号の登録数・投稿数について報告がなされた。

III 協議事項

1. 平成 29 年度決算、平成 30 年度 事業計画(案)・予算(案)

(1) 平成 29 年度 決算

芳賀副総務局長より説明があり、総会にて承認を得ることが確認された。

(2) 平成 29 年度 監査

山本監事より資料をもとに平成 30 年 9 月 18 日に実施した監査委員会について、会計が適切に処理され、正確に決算が執行された旨の説明があり、総会にて承認を得ることが確認された。

(3) 平成 30 年度事業計画(案)

新野総務局長より、概要集の資料をもとに説明があり、総会にて承認を得ることが確認された。また、学会会報・第 37 号は、平成 30 年度には発行せず、平成 31 年度 7 月に発行予定であると説明された。

(4) 平成 30 年度予算(案)

芳賀副総務局長より説明があり、総会にて承認を得ることが確認された。

2. 学会会則等の改正(案)

新野総務局長より説明があり、総会にて承認を得ることが確認された。

なお、資料「学会の会議と構成員(新設案)」理事会欄に私立大学全国理事を追加記述した。

3. 平成 31 年度 開催大学【共通】

河西大会運営委員より 2019 年 9 月 21 日(土)、22 日(日)の仮日程で予定されている岐阜大会について、説明がなされた。

4. 再来年度以降の全国大会開催大学

新野総務局長より説明があった。

なお、第 59 回(2020 年)宇都宮大学の予定。第 60 回(2021 年)東北地区の予定。大会開催大学への他大学との協力体制について検討を重ねる必要性が言及された。

5. その他

新野総務局長より、自然災害被害を受けた学会参加者(学生)への対応について、理事長判断で対応したことの説明がなされた。

IV あいさつ

閉会の辞：佐藤副理事長から挨拶がなされた。

平成 30 年度 総会報告

日時：平成 30 年 9 月 23 日（日）13：40-13：55

場所：奈良教育大学 大講義室

司会進行：宇田秀士（奈良教育大学）

1. 開会の辞

佐藤理事長より挨拶があった。

2. 議長団選出

議長として北陸・東海ブロックの濱口由美(福井大学)、副議長として中国・九州ブロックの栗山裕至(佐賀大学)が選出された。

3. 議事

【報告事項】

(1) 平成 30 年度 役員・各種委員会委員等

佐藤理事長より概要集の資料をもとに平成 30 年度役員・各種委員会委員の報告がなされた。

(2) 平成 29 年度 事業報告

新野総務局長より概要集の資料をもとに平成 30 年度事業の報告がなされた。

(3) 平成 29 年度 決算

芳賀副総務局長より資料をもとに平成 29 年度決算の報告がなされた。

(4) 平成 29 年度 監査

新野総務局長（山本・松尾 監事代理）より、資料をもとに平成 30 年 9 月 18 日に実施した監査委員会について、会計が適切に処理され、正確に決算が執行されていたことの報告がなされた。

(5) 学会誌委員会

佐藤委員長より、学会誌第 50 号の登録数・投稿数・掲載数、学会誌第 51 号の登録数・投稿数について報告がなされた。

(6) 平成 31 年度全国大会の開催大学

河西大会運営委員より 2019 年 9 月 21 日(土)、22 日(日)の仮日程で予定されている岐阜大会について、説明がなされた。

【協議事項】

(1) 平成 31 年度役員（案）

佐藤理事長より、平成 31 年度副理事（兼学会誌委員長）に山田芳明氏が推挙され、承認された。

(2) 平成 30 年度事業計画（案）

新野総務局長より、概要集をもとに平成 30 年度事業計画（案）について説明があり、承認された。

(3) 平成 30 年度予算（案）

芳賀副総務局長より、学会員は 2018 年 9 月 21 日現在 749 名(内 1 名、学会誌購読会員)と報告がなされ、資料をもとに平成 30 年度予算(案)について説明があり、承認が得られた。

(4) 学会会則等の改正（案）

新野総務局長より、資料をもとにして学会会則の改正について説明があり、承認が得られた。

4. 議長団解任

5. 閉会の辞

八重樫副理事長より閉会の辞があった。

平成 29 年度 大学美術教育学会 決算

■収入の部

(円)

	費 目	決算額	備 考
年会費	会費	4,980,000	8,000×622名 4,000×1機関
	未納分	557,000	
掲載負担金	学会誌掲載負担金	1,500,000	30,000×50件
繰越金	平成 28 年度繰越金	236,272	
	合 計	7,273,272	

■支出の部

(円)

	費 目	決算額	備 考
補助金	研究大会運営補助金	50,000	広島大会
印刷製本費	学会誌発行	1,949,659	美術教育学研究 No. 50 (発送費込み)
	会報発行	280,685	大学美術教育会報 No. 35、No. 36 (発送費込み)
	名簿発行	0	
運営費	運営員会・拡大総務局会	231,573	旅費
	会場費	23,658	会場費
	各種員会	142,490	学会誌委員会
	諸会議・打合せ	0	
事務経費	通信費	103,426	会費請求
	事務費	73,137	
	雑費	9,800	手数料
委託費	事務支局業務委託費	1,296,000	会員管理業務
	学会誌編集委託費	591,300	編集業務
	大会受付業務委託費	330,048	第 56 回広島大会
	HP 管理費	60,000	
その他	大会案内	60,183	広島大会一次案内
予備費	予備費	0	
	合 計	5,201,959	

7,273,272 (収入の部) - 5,201,959 (支出の部) = 2,071,313 次年度へ繰越

平成 30 年度 大学美術教育学会 予算

■収入の部

(円)

	費 目	決算額	予算額	増減	備 考
年会費	会費	4,980,000	5,988,000	1,012,000	8,000 円×748 名 4,000 円×1 名 (平成 30 年度会員)
	未納分	557,000	0	-557,000	
掲載負担金	学会誌掲載負担金	1,500,000	1,500,000	0	
繰越金	平成 29 年度繰越金	236,272	2,071,313	1,835,041	
	合 計	7,273,272	9,559,313	2,286,041	

■支出の部

(円)

	費 目	決算額	予算額	増減	備 考
補助金	研究大会運営補助金	50,000	50,000	0	奈良大会
印刷製本費	学会誌発行	1,949,659	2,000,000	50,341	美術教育学研究 No. 51 (発送費込み)
	会報発行	280,685	150,000	-130,685	大学美術教育会報 No. 37 (発送費込み)
	名簿発行	0	30,000	30,000	
運営費	運営員会・拡大総務局会	231,573	300,000	70,427	旅費
	会場費	23,658	50,000	26,342	会場費
	各種員会等	142,490	200,000	57,510	学会誌委員会
	諸会議・打合せ	0	100,000	100,000	
事務経費	通信費	103,426	150,000	46,574	会費請求
	事務費	73,137	100,000	26,863	
	雑費	9,800	10,000	200	手数料
委託費	事務支局業務委託費	1,296,000	1,296,000	0	会員管理業務
	学会誌編集委託費	591,300	1,000,000	408,700	編集業務
	大会受付業務委託費	330,048	350,000	19,952	第 57 回奈良大会
	HP 管理費	60,000	60,000	0	
その他	大会案内	60,183	100,000	39,817	奈良大会一次案内
予備費	予備費	0	3,713,313	1,642,000	
	合 計	5,201,959	9,559,313	2,286,041	

平成30年度 役員・各種委員会委員一覧

- 理事長 佐藤哲夫* (新潟大学)
- 副理事長 八重樫良二* (北海道教育大学)
佐藤賢司* (大阪教育大学)
- 顧問 小野康男* (横浜国立大学)
- 総務局理事
総務局長 新野貴則* (山梨大学)
副総務局長 芳賀正之* (静岡大学)
村田 透* (滋賀大学)
総務局員 西村德行 (東京学芸大学)
原口健一 (横浜国立大学)
渡邊美香 (大阪教育大学)
山田芳明 (鳴門教育大学)
大貫真寿美 (帝京大学短期大学)

■大会運営委員

- 宇田秀士 (奈良教育大学)
河西栄二 (岐阜大学)

■監事

- 山本政幸 (岐阜大学)
松尾大介 (上越教育大学)

■地区全国理事

I〔北海道〕

- 二上正司 (北海道教育大学岩見沢校)
橋本忠和 (北海道教育大学函館校)

〔東北〕

- 降旗 孝 (山形大学)
遠藤敏明 (秋田大学)

II〔関東〕

- 高須賀昌志 (埼玉大学)
宮里明人 (東京学芸大学)

III〔北陸〕

- 濱口由美 (福井大学)
池上貴之 (金沢大学)

〔東海〕

- 鷹巢 純 (愛知教育大学)
大宮康男 (静岡大学)

IV〔近畿〕

- 山岸公基 (奈良教育大学)
前芝武史 (兵庫教育大学)

〔四国〕

- 秋山敏行 (愛媛大学)
金子宜正 (高知大学)

V〔中国〕

- 川路澄人 (島根大学)
吉田貴富 (山口大学)

〔九州〕

- 小江和樹 (鹿児島大学)
幸 秀樹 (宮崎大学)

■私立大学全国理事

- 三澤一実 (武蔵野美術大学)
浅野卓司 (桜花学園大学)

■学会誌委員会

- 委員長 佐藤賢司 (大阪教育大学)
副委員長 山田芳明 (鳴門教育大学)
副委員長 上山 輝 (富山大学)
委員 [H29-30 年度委員 5名]

- 手塚千尋 (東京福祉大学)
藤田雅也 (静岡県立大学)
福井一真 (愛媛大学)
前芝武史 (兵庫教育大学)
中村和世 (広島大学)

- 委員 [H30-31 年度委員 6名]

- 有田洋子 (島根大学)
伊藤将和 (上越教育大)
大西洋史 (関西国際大学)
小谷 充 (島根大学)
佐藤哲夫 (新潟大学)
勅使河原君江 (神戸大学)

*印：運営委員

平成 29 年度 事業報告

平成 30 年度 事業計画

7月上旬	「広島大会一次案内」発行・郵送 研究発表(口頭)・ポスター発表の「申込案内」郵送
7月22日(土)	第1回運営委員会、第1回拡大総務局会議(東京/ABC貸会議室)
8月8日(火)	大学美術教育学会「広島大会」研究発表(口頭)申込締切・ポスター発表申込締切 学会誌・事前投稿登録締切
8月31日(木)	広島大会事前参加申込締切
9月11日(木)	「広島大会案内(最終)」HP掲載 「学会会報・第35号」発行・郵送
9月11日(月)	「投稿論文」締切(消印有効)、学会誌編集作業開始
9月18日(月)	平成28年度会計監査 (村松監事・竹井監事)
9月6日(水) ～9月13日(水)	第2回運営委員会(メール会議)
9月22日(金)	大会前日諸会議:第2回拡大総務局会、第1回大学美術教育学会拡大理事会、各種委員会
9月23日(土) ～9月24日(日)	平成29年度日本教育大学協会全国美術部門協議会・第56回大学美術教育学会「広島大会」:部門・学会合同開催式(広島大学)、大会特別企画、総会、部門・学会合同懇親会、シンポジウム、ポスター発表、研究発表(口頭)、閉会式、大会開催大学引継ぎ(次期開催大学-奈良教育大学)
11月下旬	投稿論文の掲載可否の決定(投稿論文の最終提出は可否決定後4週間以内)
(平成30年)	
1月31日(水)	投稿論文掲載者による掲載負担金納入(厳守)
3月3日(土)	第3回運営委員会
3月22日(木)	第2回拡大理事会(メール会議)
3月30日(金)	「学会誌・第50号」発行・郵送 「学会会報・第36号」(次期大会予告)発行・郵送(奈良大会一次案内) *上記のほか、運営委員会(メール会議)等を随時開催

5月31日(木)	「奈良大会二次案内」メール配信
6月23日(木)	「奈良大会三次案内」発行・郵送 研究発表(口頭)・ポスター発表の「申込案内」郵送
7月8日(日)	第1回総務局会(東京/ABC貸会議室)
7月18日(火)	大学美術教育学会「奈良大会」研究発表申込締切・ポスター発表申込締切 研究発表申込締切・ポスター発表原稿提出締切
7月27日(金)	学会誌・事前投稿登録締切 奈良大会事前参加申込締切
7月27日(金)	「奈良大会案内(最終案内)」HP掲載、
8月27日(月)	メール配信
9月上旬	第2回総務局会(メール会議)
9月上旬	平成29年度会計監査 (山本監事・松尾監事)
9月10日(月)	「投稿論文」締切(消印有効)
9月21日(金)	大会前日諸会議:第3回総務局会、第1回大学美術教育学会理事会、各種委員会
9月22日(土) ～9月23日(日)	平成30年度日本教育大学協会全国美術部門協議会・第57回大学美術教育学会「奈良大会」:部門・学会合同開催式(奈良教育大学)、研究発表(口頭)、シンポジウム、部門・学会合同懇親会、ポスター発表、総会、閉会式、大会開催大学引継ぎ(次期開催大学-岐阜大学)
11月下旬	投稿論文の掲載可否の決定(投稿論文の最終提出は可否決定後4週間以内)
(平成31年)	
2月上旬	第1回代表・理事長選考委員会
2月上旬	第4回総務局会
1月31日(水)	投稿論文掲載者による掲載負担金納入(厳守)
3月下旬	第2回学会理事会(メール会議)
3月下旬	「学会誌・第51号」発行・郵送
	*上記のほか、運営委員会(メール会議)等を随時開催

第57回 大学美術教育学会 奈良大会報告

近畿・四国地区の10大学教育系学部への支援体制の下、2018年9月21日(金)～23日(日)に、「2018年度日本教育大学協会全国美術部門協議会並びに第57回大学美術教育学会」を奈良教育大学で54年ぶりに開催しました。天候にも恵まれ、240名余りの有料参加者があり、招待者・企業参加者・スタッフをあわせると、約290名近くが小さな奈教大キャンパスに集いました。

1. 概要

[日程]

○大会前日 9月21日(金)午後 役員会議

○大会1日目 9月22日(土)

開会式、口頭発表、大会運営事務局主催シンポジウム、懇親交流会

○大会2日目 9月23日(日)

総会、口頭発表、日本教育大学協会全国美術部門主催協議会、ポスター発表、学生会議
[大会テーマ]文化遺産と美術教育

[会場] 630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学

[主催] 日本教育大学協会全国美術部門協議会
／大学美術教育学会

[後援] 奈良教育大学

[運営] 奈良教育大学 大会運営事務局

[発表申込み・事前申込み]

○口頭及びポスター発表の演題登録 6月20日(水)10時から7月18日(水)13時

概要集原稿提出期限は7月27日(金)13時

○発表者、事前参加登録・振込期限 8月27日(月)
[参加者]

○有料参加者 239名(事前申込者151名:会員・一般113名、院生・学生38名/当日申込者88名:会員・一般68名、院生・学生20名。)
招待者8名、スタッフ27名、企業12名。

○懇親交流会有料参加者137名(事前申込者100名:会員・一般80名、院生・学生20名/当日申込者37名:会員・一般25名、院生・学生12名)
招待者2名、スタッフ10名

[発表者] 口頭発表57件(1件は直前辞退)
ポスター発表18件

2. 大会1日目 9月22日(土)

[口頭発表] 22、23日の両日に行なわれた口頭発表では、鑑賞教育、教師教育、材料・素材研究、理論研究、海外での教育思想研究、美術教育史、幼児造形教育などの発表があり、熱心な意見交換がありました。

[開会式] [シンポジウム] 大講義室にて、開会



図1 山下圭介氏 口頭発表(201講義室)

式に引き続き、大会運営事務局主催シンポジウム「文化遺産と美術教育」を行ないました(15:45-17:45)。

登壇者に松本伸之氏(奈良国立博物館 館長)、人見和宏氏(大津市立栗津中学校教頭)、田中直子氏(総本山醍醐寺学芸員)をお招きし、山岸公基(奈良教育大学教授)がコーディネーターを務めました。

約150名の参加があり、人見氏が、中学校美術科の授業において、主に地域の文化財を取り上げ、生徒の能



図2 開会式で挨拶する
大山大会運営委員長

動性を生かす鑑賞授業の実践に取り組んだ実践報告・提案をし、田中氏は地域連携による京都市立醍醐中学校との文化財鑑賞授業を報告・提案しました。松本氏は、京都国立博物館及び東京国立博物館の副館長時代の学校との連携活動や奈良国立博物館で始めた活動を報告しました。3人の報告・提案の後にフロアーからの質問・意見にこたえる形の討議があり、文化遺産を活かした実践の可能性と課題を確認しました。

[懇親交流会] 同日夕刻の大学内での約150名の参加の懇親交流会では、佐藤哲夫代表・理事長(新潟大)や本学加藤学長の挨拶のほか関連学会の美術科教育学会元代表理事の金子一夫氏(茨城大)、日本美術教育学会事務局長の大橋功氏(岡山大)、私学代表の三澤一実氏(武蔵野美術大)のスピーチがあり、多いに交流を深めました。会後半では次年度大会開催の岐阜大学のスタッフの挨拶もあり、大会の襻をつなげました。



図3 シンポジウムの登壇者



図5 学生会館で交流を深める参加者



図4 シンポジウムでの田中氏の発表



図6 懇親会での岐阜大学スタッフ挨拶

3. 大会2日目 9月23日(日)

[全国美術部門協議会] 23日の本部事務局主催「日本教育大学協会全国美術部門協議会」(10:45-12:10)では、「教員養成縮小期における国立大学の現状と課題—これからの美術科教員養成を占う」というテーマの下、新関伸也氏(滋賀大学)をコーディネーターとして、新井浩氏(福島大学)、濱口由美氏(福井大学)、秋山敏行氏(愛媛大学)、栗山裕至氏(佐賀大学)から現状と課題の報告がありました。厳しい現状の下で、いかに活路を見出すかを考えられました。



図7 協議会の登壇者(大講義室)

[総会] 大講義室における年一度の総会において、活動計画案、決算・予算報告などについて審



図8 神戸大の勅使河原氏、安里氏 ポスター発表

議しました。

[ポスター発表] 同日昼に、207・208・209講義室で行なわれたポスター発表では、18件の発表があり、参加者との近い距離での対話や議論が生まれました。

[学生会議] 奈良大会で9回目の開催となった学部学生を中心とした学生会議(206講義室)では、「新しい学びを共有—未来の美術教育をつくるために—」というテーマのもと、今後の美術教育について代表学生の発表をもとに熱心な議論を交わしました。



図9 谷川氏(埼玉大学)の発表をきく参加者

4. 大会運営について

多くの発表者、参加者、企業ブース関係者及び本部事務局の支援により、盛会となりましたことに御礼申し上げます。なお奈良大会は、以下のスタッフにより、運営致しました。

○奈良大会運営事務局(奈良教育大学 美術教育講座内)[大会運営委員長] 大山明彦/[大会運営副委員長(研究)] 山岸公基/[大会運営副委員長(総務)/大会運営委員] 宇田秀士/[大会運営事務局委員] 原山健一、竹内晋平、狩野宏明/[院生・学生スタッフ] 16名

○第57回奈良大会システムサポートデスク
京都市上京区 中西印刷株式会社内

[謝辞] 近畿・四国地区10大学の先生方、サポートデスク河合真須美氏には、特段のご支援をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

(大会運営委員 宇田秀士 2018. 10. 31記)

会員情報（メールアドレス）の更新のお願い

経費削減ときめ細やかな会員サービスの実現のために、部門からの連絡の一部を可能な限り電子メールに移行させていただいております。

会員の皆様には電子メールアドレスに変更等がございましたら、随時、e-naf システムより会員登録情報の更新をお願い致します。

<更新方法>

- ①大学美術教育学会会員情報管理システム (e-naf) ログイン画面を開く

<https://e-naf.jp/UAESJ/member/login.php>

- ②「ログイン ID (会員番号)」と「パスワード」を入力 (ID は封筒の宛名の右下に記載があります。今後も必要となりますので必ずご自身で控えておいてください。パスワードを紛失した場合は、ログイン画面より再発行が可能です。)
- ③会員登録情報をクリック
- ④画面一番下の「修正」をクリック
- ⑤修正したら、確認画面→登録へと進む。
- ⑥登録変更のご連絡（自動配信メール）が届いたら変更完了

学会員の名簿について

大学美術教育学会の会員名簿については、パスワード付 PDF をホームページの会員情報に掲載しております。下記の方法で PDF をダウンロードし、別紙に記してありますパスワードを入力してご確認ください。なお、e-naf のパスワードとは異なりますのでご注意ください。

<会員名簿 (PDF ファイル) のダウンロード>

- ①日本教育大学協会全国美術部門・大学美術学会のホームページを開く (<https://www.uaesj.com/>)
- ②次の順でメニュー等をクリックする。
「大学美術教育学会」→「会員情報」→「大学美術教育学会 会員情報名簿」
- ③ダウンロードしたら、パスワードを入力

年会費の支払いに関するお願い

大学美術教育学会は、皆様の年会費により運営されています。年会費の支払いにご協力ください。

滞納されている方は、早めに納入くださいますようご協力お願い致します。なお、払込取扱票の再発行はいたしかねます。未納額が不明な場合には、会員様ご自身で e-naf より会費納入状況をご確認いただけます (メールによるお問い合わせにも、従来通り対応致します)。また、領収書は払込の控えをもって代替させていただいておりますので、ご了承ください。

■振込先

口座番号：00980-6-203000

加入者名：大学美術教育学会

*大会参加費の送付先とは異なりますので、ご注意ください。

問合せ先について

大学美術教育学会では、平成 26 年度以降、業務の一部をアウトソーシング (中西印刷株式会社に業務委託) しております。つきましては、会員管理・会費に関するお問い合わせは、大学美術教育学会事務支局 (中西印刷内) へ、その他については、総務局へお問い合わせください。

<会員管理・会費関連に関するお問い合わせ>

大学美術教育学会事務支局
(中西印刷株式会社内)

Tel:075-415-3661

e-mail:uaesj@nacos.com

<総務局へのお問い合わせ>

総務局専用電子メールアドレス
e-mail:daibibumon@uaesj.com

【総務局広報担当】

新野貴則 (山梨大学)

村田 透 (滋賀大学)

芳賀正之 (静岡大学)

